

准教授（工作部門） 堀 三計

平成24年4月1日から、研究基盤総合センター工作部門に准教授として赴任いたしました。学内ではシステム情報系構造エネルギー工学域に所属しておりますが、工作部門専任として工作部門内に居室を構えております。

筑波大学に赴任する前は、都内の大学で工作機械に関する研究を行ってきました。また、大学内の機械工場の運営委員を務め、機械工場の運営にも携わって参りました。今までは、自分の研究に支障を来さないことだけを考えて装置の設計や製作をしておりましたので、遣っ付け仕事で済みます場合もありました。しかし、この工作部門では様々な専門分野の教職員や学生の皆様からの装置製作や加工について相談を受けるため、毎日、気を引き締めております。その反面、様々な研究分野を垣間見ることができるので、教職員や学生の皆様が相談にくるのを大変楽しみにしております。

工作部門に相談にくる方々のうち多くの皆様はCADや手描きできれいな図面を描いてきます。図面がきれいに描けていると、相談者がどんなものを求めているのかを理解しやすく、相談も効率よく進みます。このような立場になり、改めて図面のすばらしさを認識しております。

しかし、相談の中には、残念ながら工作部門では加工ができない、或いは、非常に難しいため時間が掛かってしまうような加工があります。このような加工については外注に出すなど、できる限り相談者のご希望に添うように考えますので、お気軽に相談にきて下さい。

最近、日本の「ものづくり」力が弱くなってきているように感じられます。しかし、日本はまだまだ「ものづくり」をしていかなければなりません。筑波大学には、いわゆる機械工作に係わる授業がありません。そこで、設計・加工の相談を通して、いわゆる「ものづくり」に関する知識や技術などを学生の皆さんに伝え、少しでも日本の「ものづくり」に貢献できればと思っております。

これからも、教職員や学生の皆様の力になれるよう精一杯努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。